突発性発疹
（とっぱつせいほっしん）

突発性発疹は、**ヒトヘルペスウイルス6型・7型**による感染症です。**生後6か月〜2歳ごろ**にかかることが多く、**赤ちゃんの「初めての高い熱」**になることがよくあります。**高い熱が3日ほど続き、熱が下がってから発疹が出る**のが特徴です。多くは自然に治ります。

どんな経過？

1〜3日目　**急に38〜40℃の高い熱**が出て、**3日ほど**続きます。熱のわりに**機嫌は比較的よい**ことが多く、下痢をすることもあります。

熱が下がると　熱が下がるころに、**おなかや背中、顔を中心に赤い細かい発疹**が出ます。手足にはあまり出ません。**かゆみはほとんどありません。**

数日で　発疹は**3〜4日で消え**、あとは残りません。発疹が出ているころは、**機嫌が悪くなる**ことがよくあります。

熱が出ている間は、ほかの病気と見分けにくく、**熱が下がって発疹が出てはじめて**「突発性発疹だった」とわかります。

クリニックでの治療

- ウイルスに効く薬はないため、**症状をやわらげる治療**をします。抗菌薬（抗生物質）は効きません。
- 熱でつらそうなときは、**解熱剤（アセトアミノフェン）**を使います。
- 発疹はかゆみがなく自然に消えるので、**ぬり薬は必要ありません。**

おうちでできること

- **水分をこまめに**あげましょう。母乳やミルクはいつもどおりでかまいません。
- 熱の上がりはじめは温かく、上がりきったら**薄着にして涼しく**しましょう。
- 発疹のころの不機嫌は、多くは数日でおさまります。**抱っこ**などで安心させてあげましょう。
- 熱が下がって元気なら、**お風呂に入っても大丈夫**です。

うらに続きます →

熱性けいれんに気をつけましょう

突発性発疹は、**熱が急に上がるときに熱性けいれんを起こしやすい**病気です。けいれんが起きたら、あわてずに**横向きに寝かせ、時間をはかって**様子を見てください。口に物を入れたり、体をゆすったりしないでください。くわしくは当院ホームページ「熱性けいれんについて」をご覧ください。

こんなときは受診してください

- **生後3か月未満**の赤ちゃんの38℃以上の熱
- **ぐったりしている**、呼びかけへの反応がにぶい
- **水分がとれない**、おしっこが半日以上出ない
- **熱が4日以上**続く
- **初めてけいれん**を起こした

けいれんが5分以上続く、けいれんが止まっても意識が戻らないときは、**救急車（119）**を呼んでください。

夜間・休日に迷ったときは、こども医療電話相談 **#8000** にご相談ください。

保育園・幼稚園は？

熱が下がり、機嫌がよく、ふだんどおり過ごせれば登園できます。発疹が残っていても、うつる心配はほとんどありません。

2回かかることも

原因のウイルスが**6型と7型の2種類**あるため、**2回かかる**ことがあります。一度かかったことがあっても、同じような経過をたどるときは突発性発疹の可能性があります。

かつらがわキッズクリニック

075-874-4381

夜間・休日の相談は　こども医療電話相談 #8000

〒601-8601 京都市南区久世高田町376-1 イオンモール京都桂川 1階 メディモ内

監修：かつらがわキッズクリニック　院長　後藤高弘（2026年10月作成）／参考：国立健康危機管理研究機構（JIHS）「突発性発しん」、厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」、日本小児神経学会「熱性けいれん（熱性発作）診療ガイドライン」

ホームページ